

## 平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

コード番号 4927 URL <http://www.po-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 久米 直喜

TEL 03-3563-5517

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	38,945	9.8	1,225	5.2	1,580	8.1	721	21.4
23年12月期第1四半期	35,477	△1.2	1,165	△3.0	1,462	7.3	594	2.8

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 2,750百万円 (703.2%) 23年12月期第1四半期 342百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	13.06	—
23年12月期第1四半期	10.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	192,728	158,426	82.2	2,864.06
23年12月期	193,027	157,057	81.3	2,839.36

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 158,336百万円 23年12月期 156,971百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	25.00	45.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,400	9.5	4,700	△15.1	4,900	△17.8	2,000	△33.1	36.18
通期	182,000	9.2	13,800	7.4	14,300	7.3	7,000	△12.9	126.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

Jurlique International Pty Ltd、Pola Or  
新規 3社 (社名) bis Jurlique holdings Pty Ltd、Pola Orbi  
s Jurlique Pty Ltd、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	57,284,039 株	23年12月期	57,284,039 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	2,000,000 株	23年12月期	2,000,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	55,284,039 株	23年12月期1Q	55,284,039 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 企業結合関係に関する注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年3月31日）におけるわが国の経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災による消費マインド低下や企業収益の減少から緩やかに回復しています。今後も景気の確かな持ち直しが期待されるものの、欧州の財政危機や原油価格高騰等を背景とした海外景気の下振れによる国内景気悪化リスクも依然存在しております。

国内化粧品市場においては、昨年末から比較的好調なスキンケア化粧品を中心に堅調な推移が見込まれます。海外化粧品市場においては、欧州の財政危機等による影響を受け特に欧州で弱い動きとなりましたが、中国、インドを中心としたアジア地域の内需拡大により引き続き好調が見込まれます。

このような市場環境のもと、当社グループは平成23年からスタートした3ヶ年中期経営計画の2年目を向え、引き続き国内基幹ブランドの収益力向上と育成ブランドの拡大を図るとともに、2月には豪州の化粧品会社ジュリーク社の買収が完了する等、海外市場への展開を継続して進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

[業績の概要]

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	35,477	38,945	3,468	9.8
営業利益	1,165	1,225	60	5.2
経常利益	1,462	1,580	118	8.1
四半期純利益	594	721	127	21.4

[セグメント別の業績]

売上高（外部顧客への売上高）

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額（百万円）	増減率（%）
ビューティケア事業	32,807	36,320	3,513	10.7
不動産事業	775	745	△30	△4.0
その他	1,894	1,879	△14	△0.8
合 計	35,477	38,945	3,468	9.8

セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額（百万円）	増減率（%）
ビューティケア事業	804	995	191	23.8
不動産事業	319	354	35	11.2
その他	△44	△216	△171	—
セグメント利益の調整額 (注)	86	91	4	5.2
合 計	1,165	1,225	60	5.2

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.11～12「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報（注2）」をご覧ください。

(ビューティケア事業)

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」及び「ORBIS」を、育成ブランドとして「pdc」「FUTURE LABO」「ORLANE」「decencia」「THREE」を、海外ブランドとして「H2O PLUS」を展開しております。また当第1四半期連結累計期間より「Jurlique」が新ブランドとして加わっております。

POLAブランドでは、市場ニーズに合わせたチャネル展開とお客さま満足の向上に向け、エステ併設型集客店舗「ポーラ ザ ビューティ」や百貨店店舗の展開を進めるとともに、販売品質・カウンセリング技術の向上に努めてまいりました。国内市場においては2月に“エイジングにぎり”に着目した美白新製品「ホワイトショット CX」を発売し美白キャンペーンを展開したほか、3月には夏季のシーズンalB. A第一弾として「B. A ザ メーク サマー」シリーズを発売する等、季節に合わせた製品発売とプロモーションを展開しました。海外市場においては、タイや香港の事業が拡大しました。その結果、POLAブランドは前年同期を上回る業績となりました。

ORBISブランドでは、お客さまの継続購入率を高め、収益性の向上を図るべく、スキンケア化粧品のリニューアルやネット通販の強化、販売費用の効率化等に取り組んでまいりました。国内市場においては、昨年末に発売した40代からのスキンケアをコンセプトとする「エクセレントエンリッチ」シリーズの販売や季節に合わせたスキンケア化粧品のプロモーションが奏功しました。海外市場においては、中国での事業拡大に取り組みました。その結果、ORBISブランドは前年同期を上回る業績となりました。

育成ブランド、海外ブランドについては、THREEブランドやFUTURE LABOブランドの好調な国内販売と、H2O PLUSブランドのアジアを中心とした事業展開並びに2月に連結したJurliqueブランドの2ヶ月弱の業績を取り込んだ結果、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は36,320百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は995百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

#### （不動産事業）

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と、空室率の低下に取り組んでいます。また、子育て支援に特化した新しいモデルとなる賃貸マンション事業も展開しております。当第1四半期連結累計期間は、賃料維持に向けた営業努力を継続したものの、市場の賃料下落傾向の影響を受け、前年同期を下回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は745百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は354百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

#### （その他）

その他に含まれている事業は、医薬品事業及びビルメンテナンス事業であります。なお、前年同期に展開しておりました印刷事業は、前第3四半期連結累計期間より撤退しております。

医薬品事業では、化粧品や医薬部外品研究で培ってきた当社グループの研究成果を活用し、新薬開発及び販売を行っております。これまでに新薬として外用抗真菌剤「ルリコン」と更年期障害治療薬「ディビゲル」の2品を上市したほか、新薬以外では緩下剤「アローゼン」や皮膚科関連等の医薬品を全国の病院、大学等の医療機関に提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、「ルリコン」の取り扱い医療機関の拡大は順調に推移したものの、医療機関当たりの販売量減少により、前年同期を若干下回る業績となりました。

ビルメンテナンス事業は、当社グループ会社を主な取引先としております。当第1四半期連結累計期間においては、当社グループ以外の受注を拡大すべく、新規取引先との成約に向けた営業活動の強化を図った結果、受注件数が増加する等し、前年同期を上回る業績となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は1,879百万円（前年同期比0.8%減）、営業損失は216百万円（前年同期は営業損失44百万円）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ298百万円減少し、192,728百万円（前連結会計年度末比0.2%減）となりました。主な増減項目は、ジュリーク買収にかかる資金への充当等に伴う現金及び預金の減少25,701百万円並びに投資有価証券の減少2,761百万円により減少し、一方で、ジュリークを買収したこと等に伴うのれんの増加13,762百万円、無形固定資産「その他」の増加12,553百万円、商品及び製品の増加1,665百万円並びに建物及び構築物の増加1,066百万円により増加しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,667百万円減少し、34,302百万円（前連結会計年度

末比4.6%減）となりました。主な増減項目は、販売手数料未払金の減少等による流動負債「その他」の減少1,737百万円により減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,368百万円増加し、158,426百万円（前連結会計年度末比0.9%増）となりました。主な増減項目は、為替換算調整勘定の増加1,792百万円、四半期純利益の計上721百万円、その他有価証券評価差額金の増加242百万円により増加し、一方で剰余金の配当1,382百万円により減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「豪州ジュリーク社の株式取得」の影響額を反映したことから、平成24年2月14日に発表しました公表数値より第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を以下のように変更することといたしました。

平成24年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 82,200	百万円 5,500	百万円 5,800	百万円 2,700	円 銭 48.84
今回修正予想（B）	86,400	4,700	4,900	2,000	36.18
増減額（B－A）	4,200	△800	△900	△700	—
増減率（％）	5.1	△14.5	△15.5	△25.9	—
（参考）前期第2四半期実績 （平成23年12月期第2四半期）	78,937	5,534	5,962	2,989	54.08

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 172,000	百万円 13,700	百万円 14,200	百万円 7,000	円 銭 126.62
今回修正予想（B）	182,000	13,800	14,300	7,000	126.62
増減額（B－A）	10,000	100	100	—	—
増減率（％）	5.8	0.7	0.7	—	—
（参考）前期実績 （平成23年12月期）	166,657	12,853	13,322	8,039	145.43

（参考情報）

前期累計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売 上 高	百万円 35,477	百万円 78,937	百万円 119,946	百万円 166,657
営 業 利 益	1,165	5,534	8,784	12,853
経 常 利 益	1,462	5,962	9,108	13,322
四半期純利益	594	2,989	5,475	8,039

前期会計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売 上 高	百万円 35,477	百万円 43,459	百万円 41,009	百万円 46,710
営 業 利 益	1,165	4,366	3,250	4,069
経 常 利 益	1,462	4,496	3,146	4,214
四半期純利益	594	2,395	2,485	2,564

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、Pola Orbis Jurlique Holdings Pty Ltd 及び Pola Orbis Jurlique Pty Ltdに対する出資を完了したことにより、連結の範囲に含めております。また、Jurlique International Pty Ltd の発行済株式の全てを取得したことにより、連結の範囲に含めております。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	50,679	24,977
受取手形及び売掛金	20,719	17,658
有価証券	18,412	19,315
商品及び製品	9,664	11,329
仕掛品	1,648	1,774
原材料及び貯蔵品	4,351	4,774
その他	5,686	5,567
貸倒引当金	△69	△91
流動資産合計	111,093	85,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,134	17,201
土地	20,761	21,071
その他（純額）	12,523	12,773
有形固定資産合計	49,420	51,046
無形固定資産		
のれん	3,583	17,345
その他	8,553	21,107
無形固定資産合計	12,137	38,453
投資その他の資産		
投資有価証券	13,582	10,821
その他	6,958	7,267
貸倒引当金	△165	△165
投資その他の資産合計	20,376	17,923
固定資産合計	81,933	107,423
資産合計	193,027	192,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,894	3,355
短期借入金	1,500	1,557
未払法人税等	1,806	1,070
賞与引当金	1,561	1,895
その他	16,026	14,288
流動負債合計	23,788	22,168
固定負債		
退職給付引当金	6,795	6,707
その他	5,384	5,425
固定負債合計	12,180	12,133
負債合計	35,969	34,302
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	90,718	90,718
利益剰余金	59,469	58,809
自己株式	△2,199	△2,199
株主資本合計	157,988	157,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35	206
繰延ヘッジ損益	9	—
為替換算調整勘定	△991	801
その他の包括利益累計額合計	△1,017	1,008
少数株主持分	86	89
純資産合計	157,057	158,426
負債純資産合計	193,027	192,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	35,477	38,945
売上原価	6,958	8,068
売上総利益	28,518	30,877
販売費及び一般管理費		
販売手数料	9,662	9,972
販売促進費	3,902	4,296
広告宣伝費	1,259	1,337
給料手当及び賞与	3,846	4,280
賞与引当金繰入額	884	955
ポイント引当金繰入額	339	371
その他	7,458	8,439
販売費及び一般管理費合計	27,353	29,651
営業利益	1,165	1,225
営業外収益		
受取利息	121	124
為替差益	155	215
その他	64	47
営業外収益合計	341	387
営業外費用		
支払利息	14	16
持分法による投資損失	—	8
その他	29	6
営業外費用合計	43	31
経常利益	1,462	1,580
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	119
その他	0	2
特別利益合計	3	121
特別損失		
固定資産除却損	27	63
災害による損失	277	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	954	—
その他	50	6
特別損失合計	1,308	70
税金等調整前四半期純利益	157	1,632
法人税、住民税及び事業税	459	1,162
法人税等調整額	△894	△248
法人税等合計	△435	914
少数株主損益調整前四半期純利益	592	717
少数株主損失(△)	△2	△4
四半期純利益	594	721

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	592	717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	242
繰延ヘッジ損益	—	△9
為替換算調整勘定	△76	1,800
その他の包括利益合計	△249	2,032
四半期包括利益	342	2,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341	2,747
少数株主に係る四半期包括利益	0	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,807	775	33,583	1,894	35,477	—	35,477
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	173	189	1,580	1,769	△1,769	—
計	32,822	949	33,772	3,474	37,247	△1,769	35,477
セグメント利益又は 損失(△)	804	319	1,123	△44	1,078	86	1,165

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業、印刷事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額86百万円には、セグメント間取引消去561百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△475百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,320	745	37,066	1,879	38,945	—	38,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	156	171	559	730	△730	—
計	36,335	902	37,237	2,438	39,676	△730	38,945
セグメント利益又は 損失(△)	995	354	1,350	△216	1,134	91	1,225

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額91百万円には、セグメント間取引消去622百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△531百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は以下のとおりであります。

「ビューティケア事業」セグメントにおいて、Pola Orbis Jurlique Holdings Pty Ltd 及び Pola Orbis Jurlique Pty Ltd を新たに設立したこと並びに、Jurlique International Pty Ltd の株式を取得し同社及びその子会社11社を連結子会社としたこと等により、セグメント資産が27,934百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ビューティケア事業」セグメントにおいて、平成24年2月3日付でJurlique International Pty Ltdの全株式を取得し、同社及びその子会社11社を連結子会社としたことに伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては13,714百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 企業結合関係に関する注記

取得による企業結合

当社は平成23年11月30日開催の取締役会において、豪州を本社としてアジア・米国・欧州においてナチュラルオーガニック原料由来のスキンケア及びボディケア製品ブランドを展開するJurlique International Pty Ltd（以下「ジュリーク」という。）の全株式を取得することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。また、同取締役会において、ジュリークの発行済株式の全てを取得することを目的とする特別目的会社を豪州に設立することを決議し、平成23年12月19日に特別目的子会社である子会社2社を設立しました。続いて、平成24年1月31日に設立子会社2社に対する出資を完了し、平成24年2月3日にジュリーク取得手続きを完了しました。

1. 企業結合の概要

① 被取得企業の名称およびその事業の内容

- a. 名称                      Jurlique International Pty Ltd
- b. 事業の内容               化粧品製造・販売
- c. 資本金                   72,389千豪ドル  
                                  (平成24年2月3日時点)

② 株式取得の相手会社の名称

- a. JJHP, LLC
- b. CPH Products Pty Limited
- c. Ulrike Klein Investments Pty Limited
- d. その他法人及びジュリークの役員等

③ 企業結合を行った主な理由

当社の長期ビジョンである「高収益グローバル企業」の実現に向け、アジア・米国・欧州を中心に世界20の国と地域で販売展開し、5カ国に11社の連結子会社（平成24年2月3日時点）を有するジュリークを取得し、更なる海外事業基盤の強化をはかることを目的としております。

④ 企業結合日

平成24年2月3日

⑤ 企業結合の法的方式

現金による株式取得

⑥ 結合後企業の名称及び取得した議決権比率

Jurlique International Pty Ltd           100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社がジュリークの株式を取得したことにより、ジュリーク他11社の議決権の100%を保有したことによるものであります。

2. 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年2月4日から平成24年3月31日まで

3. 取得原価の算定に関する事項

取得の対価	現金	27,300百万円（概算額）
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	800百万円（ 〃 ）
取得原価		28,100百万円（ 〃 ）

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

- a. 発生したのれん金額 13,714百万円（概算額※）
- b. 発生原因 今後の事業展開によって期待されるシナジーを含む将来の超過収益力により発生したものであります。
- c. 償却方法及び償却期間 20年間で均等償却

※当第1四半期連結会計期間末において、ジュリーク他11社の取得に伴い取得した資産及び負債のうち、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の特定が未了であるため取得原価の配分は完了しておりません。従って、概算額については暫定的に算定された金額であります。